



その後各作家は、各自の会場で作品の展示についての最終点検を行い、10時から正式にオープン。23日(日)までの10日間の会期の幕が開きました。初日の延べ来場者数は306人で、当然のことながら土曜日、日曜日

10月14日(金)9時、今井エリアのインフォメーション会場である阿伽陀屋若林亭に当保存会関係者と出展作家6人が参加して、はならあとの開会式並びに期間中のコロナ対策など注意事項の説明を実施。

延べ3,559人来場

奈良・町家の芸術祭
「はならあと2022」
サテライト 榎原・今井エリア開催



発行 今井町並み保存会
発行日 令和4年11月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

は平日に比べて来場は多く、特に春日神社の秋祭りと重なった22日(土)は426人、23日(日)は622人と混雑する程の来場があり、作家さんは驚きと喜びを同時に感じておられました。

又、阿伽陀屋若

林亭の奥座敷では、連日サステイナブル講座が開催され、7人の講師が10件のテーマについて講義をしました。講師のうち一番遠方からは、愛媛県伊方町の地域協力隊で鳥獣被害対策を担当する、伊勢典昭氏が来町して「鳥獣被害とジビエを繋ぎたい！」と命に向き合う新米ハンターの野望と苦悩と題して自分自身が愛媛県に定住する覚悟を決めて取り組んだ日々の活動を具体的に紹介し、ジビエ消費拡大について自分の夢を熱く語ってくれました。

サステイナブル講座には、延べ108人が参加。期間中、雨天は一日だけで好天に恵まれ、はならあと今井エリアの総来場人数は延べ3,559人に達して無事閉会しました。
町内外の皆様方のご来場を心より感謝いたします。



藤田千代 中町生活広場



星伸二 阿伽陀屋若林亭



坂野真子 今西長屋北



NAOKI 中西家



佐生里佳 景観支援センター



SUZUKIMI 今西長屋南

